



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ
コード番号 6239 URL <https://www.nagaokajapan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600
定時株主総会開催予定日 2026年9月25日 配当支払開始予定日 2026年9月28日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	7,468	△16.2	499	△67.1	573	△62.0	327	△66.2
2025年6月期	8,917	△6.2	1,519	△9.7	1,509	△17.5	970	△15.7

(注) 包括利益 2026年6月期 720百万円 (△3.3%) 2025年6月期 745百万円 (△47.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	47.06	—	4.2	5.6	6.7
2025年6月期	138.90	—	13.4	14.9	17.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	10,514	7,966	75.8	1,148.62
2025年6月期	10,023	7,507	74.9	1,076.21

(参考) 自己資本 2026年6月期 7,966百万円 2025年6月期 7,507百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	756	90	△301	3,087
2025年6月期	514	△133	△308	2,427

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00	244	25.2	3.4
2026年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00	242	74.4	3.1
2027年6月期 (予想)	—	0.00	—	35.00	35.00		22.1	

3. 2027年6月期の連結業績予想 (2026年7月1日～2027年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	33.9	1,700	240.3	1,700	196.6	1,100	235.4	158.60

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年6月期	7,078,400株	2025年6月期	7,078,400株
2026年6月期	142,895株	2025年6月期	102,277株
2026年6月期	6,968,865株	2025年6月期	6,985,894株

(参考) 個別業績の概要

2026年6月期の個別業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	4,357	△25.1	△133	—	150	△89.4	116	△88.6
2025年6月期	5,813	13.2	973	20.7	1,424	15.1	1,023	20.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	16.77	—
2025年6月期	146.44	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	6,573	5,544	84.4	799.50
2025年6月期	7,493	5,731	76.5	821.62

(参考) 自己資本 2026年6月期 5,544百万円 2025年6月期 5,731百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、ゆるやかな回復基調となったものの、継続的な物価上昇による消費マインドの低下、米国の政策動向による影響や中東情勢など、景気下振れが懸念される先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、2025年6月期（前期）を初年度とし、3ヵ年を計画期間とする中期経営計画「FLIGHT PLAN： TRANSFORM 2027」に基づき、その計画に掲げた①既存事業の改革、②M&Aを活用した事業構造の変革、③人的資本の強化について、継続的に取り組んでおります。

水関連事業においては、従来からの事業領域である「上水道に用いられる地下水の取水」や「ケミレス（超高速無薬注生物処理装置）を用いた水処理プロセス」の前後の工程を新たな事業領域と位置づけ、当社グループが提案・受託可能な水処理プラントの運営・メンテナンスといった事業領域の拡充に取り組んでおります。さらに、下水道や排水処理などの上水道以外の水事業領域への参入についても検討を進め、総合水処理企業への転換を図ることと、事業規模の拡大と収益力の強化を目指してまいります。

エネルギー関連事業では、設備更新が計画的に実施される既設プラントの更新需要獲得に注力し、事業の安定化を図るとともに、新規プラント建設に関する営業活動にも積極的に取り組んでおります。当社グループが競争優位性を有するプロセスについては、特定のプロセス・オーナー案件に偏らず幅広く営業展開するとともに、競争優位性を有するプロセス以外の製品群の取り扱いの拡大、コスト競争力の強化、地政学的リスクを考慮した製造拠点の最適化を推進し、受注機会の拡大と収益力の強化を目指しております。一方、受注済案件の一部では、顧客のファイナンス上の問題の顕在化やエンドユーザーとプロセス・オーナー間における契約後の仕様変更協議の長期化などの影響でプロジェクトが一時中断し、当社でも製造停止が続いております。ファイナンス上の問題を抱える案件については、製造再開の時期や条件が未確定なため、今後の動向を慎重に見極めながら対応してまいります。製造再開および代金回収が不透明な状況が続いていることから、当連結会計年度において製造停止までに認識した債権に対し、貸倒引当金繰入額196,521千円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。なお、仕様変更協議が長期化していた案件は2026年6月までに協議が完了し、プロジェクト再開が決定しております。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績は、売上高7,468,151千円（前期比16.2%減）、営業利益499,530千円（前期比67.1%減）、経常利益573,234千円（前期比62.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益327,971千円（前期比66.2%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

当連結会計年度の受注につきましては、2026年3月に当社子会社の矢澤フェロマイト株式会社が受注した大口案件「三郷浄水場水酸化ナトリウム注入設備等改良工事（受注金額：約22.6億円（税込））」が寄与し、前年実績を大幅に上回る結果となりました。一方で、当該案件以外は例年と比べて中・小型の案件が多かったため、受注済案件の製造・工事は予定どおり進捗したものの、売上高は2,955,416千円（前期比5.6%減）にとどまりました。また、人員の増強や研究開発活動の強化などにより、前年と比べて販売費及び一般管理費が増加したことが影響し、セグメント利益は163,830千円（前期比53.6%減）となりました。

② エネルギー関連事業

当連結会計年度の受注については、中国におけるエネルギー環境の変化に伴い、中国の新設プラント需要が沈滞している中、既設プラントの更新需要及び中国以外向けの受注に注力した結果、当連結会計年度の受注は前年を上回る結果となりました。しかしながら、米国の政策動向や中東情勢の影響等により、中国以外向けの各案件の製造が想定より後ろ倒しとなり、当連結会計年度の売上高は前年を大幅に下回る結果となりました。そのため、これに伴う工場の稼働率も前年より低下し、製造固定費の負担増加により収益率が低下したうえ、近年の外部環境の影響により原材料価格や運賃が高騰したことも収益率低下の要因となりました。

また、受注済案件のうち、顧客のファイナンス上の問題が顕在化し、プロジェクトが一時的に中断している案件については、当該プロジェクトの具体的な製造再開の時期や条件が確認できておらず、製造再開および代金回収が不透明な状況が続いていることから、当社が製造を停止するまでに認識した債権に対し、貸倒引当金繰入額196,521千円を販売費及び一般管理費に計上することにいたしました。これらの結果、売上高は4,512,734千円（前期比22.0%減）、セグメント利益は928,202千円（前期比50.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は8,372,778千円となり、前連結会計年度末に比べ671,812千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が661,796千円、契約資産が306,985千円、流動資産のその他が125,125千円増加した一方で、電子記録債権が230,556千円減少、貸倒引当金が222,472千円増加したことによるものです。

また、固定資産は2,141,375千円となり、前連結会計年度末に比べ181,312千円の減少となりました。これは主に建物及び構築物が40,580千円、無形固定資産のその他が36,149千円増加した一方で、投資有価証券が152,200千円、長期前払費用が112,425千円減少したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ490,500千円増加し、10,514,154千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,427,354千円となり、前連結会計年度末に比べ45,921千円の増加となりました。これは主に、契約負債が492,068千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が307,536千円、未払金が128,266千円減少したことによるものです。

また、固定負債は120,556千円となり、前連結会計年度末に比べ13,887千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が9,924千円、リース債務が3,931千円減少したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ32,033千円増加し、2,547,910千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は7,966,243千円となり、前連結会計年度末に比べ458,466千円の増加となりました。これは主に、配当金の支払244,164千円及び親会社株主に帰属する当期純利益327,971千円の計上により利益剰余金が83,807千円、為替換算調整勘定が434,055千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,087,552千円となり、前連結会計年度末に比べ659,898千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は756,705千円（前連結会計年度は514,954千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益628,194千円、貸倒引当金の増加額211,504千円、売上債権の減少額373,547千円、契約負債の増加額464,526千円の増加要因に対し、仕入債務の減少額358,390千円、法人税等の支払額477,405千円の減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は90,735千円（前連結会計年度は133,947千円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入152,800千円の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出58,140千円の減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は301,772千円（前連結会計年度は308,957千円の使用）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出95,806千円及び配当金の支払額244,145千円の減少要因によるものです。

（4）今後の見通し

水関連事業は、国内浄水場の設備更新等の官庁案件のほか、国内および海外の民間企業向けの販売拡大に継続的に取り組んでおります。なお、中期経営計画「FLIGHT PLAN： TRANSFORM 2027」において、水関連事業の業容拡大や事業構造改革に向けたM&Aの活用を掲げておりますが、現時点では成約実績がないため、業績予想には含めておりません。

エネルギー関連事業の受注環境は、米国の政策動向や中東情勢、中国経済の停滞などの影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。このような状況下においても安定的に収益を確保するため、引き続き既設プラントの設備更新需要を確実に取り込むことに注力してまいります。また、新設プラント需要についても、世界各地のプラント建設計画の動向を積極的に情報収集し、受注機会を逸することのないよう取り組んでまいります。

これらの結果、2027年6月期の業績予想は、当連結会計年度末の受注残高および次期の受注見込額を踏まえ、売上高10,000百万円（前期比33.9%増）、営業利益1,700百万円（前期比240.3%増）、経常利益1,700百万円（前期比196.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,100百万円（前期比235.4%増）となる見込みです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。なお、国際会計基準の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,519,603	3,181,400
受取手形	25,768	478
売掛金	1,109,825	952,114
契約資産	2,920,707	3,227,693
電子記録債権	314,795	84,238
商品及び製品	10,630	33,557
仕掛品	85,755	180,656
原材料及び貯蔵品	459,929	556,038
その他	264,412	389,537
貸倒引当金	△10,464	△232,936
流動資産合計	7,700,966	8,372,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,301,438	1,506,115
減価償却累計額	△621,597	△784,364
減損損失累計額	△11,695	△13,025
建物及び構築物（純額）	668,145	708,725
機械装置及び運搬具	1,241,370	1,403,896
減価償却累計額	△948,642	△1,084,150
減損損失累計額	△102,812	△112,653
機械装置及び運搬具（純額）	189,915	207,091
工具、器具及び備品	466,262	506,312
減価償却累計額	△393,352	△444,095
減損損失累計額	△1,730	△1,866
工具、器具及び備品（純額）	71,178	60,350
土地	149,095	149,095
リース資産	31,870	31,870
減価償却累計額	△19,255	△24,267
リース資産（純額）	12,615	7,603
建設仮勘定	6,196	2,818
有形固定資産合計	1,097,146	1,135,684
無形固定資産		
のれん	9,575	4,787
その他	260,326	296,475
無形固定資産合計	269,902	301,263
投資その他の資産		
投資有価証券	152,200	—
長期前払費用	589,545	477,119
繰延税金資産	101,831	119,305
その他	121,629	108,002
貸倒引当金	△9,567	—
投資その他の資産合計	955,638	704,427
固定資産合計	2,322,687	2,141,375
資産合計	10,023,654	10,514,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,228,615	921,079
短期借入金	156,115	253,362
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	9,924	9,924
リース債務	5,513	3,931
未払金	241,973	113,707
未払費用	399,117	308,283
未払法人税等	201,372	155,228
契約負債	83,406	575,474
賞与引当金	3,690	4,797
役員株式報酬引当金	—	16,413
その他	41,705	65,153
流動負債合計	2,381,433	2,427,354
固定負債		
長期借入金	40,612	30,688
リース債務	8,942	5,011
退職給付に係る負債	82,970	84,857
長期前受収益	1,919	—
固定負債合計	134,443	120,556
負債合計	2,515,877	2,547,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	974,311	1,001,208
利益剰余金	4,842,750	4,926,557
自己株式	△103,026	△148,064
株主資本合計	6,967,276	7,032,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,835	—
繰延ヘッジ損益	228	△4,191
為替換算調整勘定	503,436	937,492
その他の包括利益累計額合計	540,500	933,300
純資産合計	7,507,777	7,966,243
負債純資産合計	10,023,654	10,514,154

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,917,041	7,468,151
売上原価	5,244,267	4,689,641
売上総利益	3,672,774	2,778,509
販売費及び一般管理費	2,152,921	2,278,978
営業利益	1,519,852	499,530
営業外収益		
受取利息	12,031	9,637
為替差益	—	64,194
スクラップ売却益	49,349	46,229
補助金収入	4,301	5,264
その他	5,764	2,148
営業外収益合計	71,447	127,475
営業外費用		
支払利息	5,527	8,611
為替差損	44,182	—
株式報酬費用消滅損	30,824	44,824
その他	1,615	335
営業外費用合計	82,149	53,771
経常利益	1,509,150	573,234
特別利益		
固定資産売却益	—	1,585
投資有価証券売却益	—	53,662
特別利益合計	—	55,248
特別損失		
固定資産売却損	—	287
固定資産除却損	2,103	0
特別損失合計	2,103	287
税金等調整前当期純利益	1,507,046	628,194
法人税、住民税及び事業税	560,156	298,036
法人税等調整額	△23,484	2,186
法人税等合計	536,671	300,223
当期純利益	970,374	327,971
親会社株主に帰属する当期純利益	970,374	327,971

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益	970,374	327,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,936	△36,835
繰延ヘッジ損益	1,197	△4,419
為替換算調整勘定	△248,271	434,055
その他の包括利益合計	△225,137	392,799
包括利益	745,237	720,771
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	745,237	720,771

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,253,241	974,311	4,110,209	△103,026	6,234,735
当期変動額					
剰余金の配当			△237,833		△237,833
親会社株主に帰属する当期純利益			970,374		970,374
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	732,540	—	732,540
当期末残高	1,253,241	974,311	4,842,750	△103,026	6,967,276

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	14,899	△969	751,708	765,638	7,000,374
当期変動額					
剰余金の配当					△237,833
親会社株主に帰属する当期純利益					970,374
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21,936	1,197	△248,271	△225,137	△225,137
当期変動額合計	21,936	1,197	△248,271	△225,137	507,403
当期末残高	36,835	228	503,436	540,500	7,507,777

当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,253,241	974,311	4,842,750	△103,026	6,967,276
当期変動額					
剰余金の配当			△244,164		△244,164
親会社株主に帰属する当期純利益			327,971		327,971
自己株式の取得				△95,806	△95,806
自己株式の処分		26,897		50,768	77,666
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	26,897	83,807	△45,037	65,666
当期末残高	1,253,241	1,001,208	4,926,557	△148,064	7,032,943

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	36,835	228	503,436	540,500	7,507,777
当期変動額					
剰余金の配当					△244,164
親会社株主に帰属する当期純利益					327,971
自己株式の取得					△95,806
自己株式の処分					77,666
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△36,835	△4,419	434,055	392,799	392,799
当期変動額合計	△36,835	△4,419	434,055	392,799	458,466
当期末残高	—	△4,191	937,492	933,300	7,966,243

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,507,046	628,194
減価償却費	157,921	142,230
のれん償却額	4,787	4,787
株式報酬費用	117,031	79,335
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,459	211,504
賞与引当金の増減額 (△は減少)	440	1,106
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	—	16,413
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,106	1,887
受取利息及び受取配当金	△15,031	△9,637
為替差損益 (△は益)	△2,264	△33,846
支払利息	5,527	8,611
株式報酬費用消滅損	30,824	44,824
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△53,662
売上債権の増減額 (△は増加)	△356,482	373,547
棚卸資産の増減額 (△は増加)	80,977	△144,318
仕入債務の増減額 (△は減少)	411,616	△358,390
未払費用の増減額 (△は減少)	△68,790	△102,902
契約負債の増減額 (△は減少)	△400,708	464,526
未払金の増減額 (△は減少)	△146,965	△147,938
その他	△86,580	106,481
小計	1,248,914	1,232,755
利息及び配当金の受取額	15,031	9,637
利息の支払額	△5,458	△8,281
法人税等の支払額	△743,532	△477,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	514,954	756,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△765	△2,496
有形固定資産の取得による支出	△113,782	△58,140
無形固定資産の取得による支出	△4,021	△7,617
投資有価証券の売却による収入	—	152,800
差入保証金の差入による支出	△21,029	△1,945
差入保証金の回収による収入	5,731	4,869
その他	△80	3,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,947	90,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	55,237	63,775
長期借入金の返済による支出	△109,924	△9,924
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△6,541	△5,513
自己株式の取得による支出	—	△95,806
配当金の支払額	△237,730	△244,145
その他	—	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308,957	△301,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90,825	114,229
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,776	659,898
現金及び現金同等物の期首残高	2,446,431	2,427,654
現金及び現金同等物の期末残高	2,427,654	3,087,552

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の各構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、取り扱う製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し事業活動を展開しており、取り扱う製品・サービスの類似性を考慮し、「エネルギー関連事業」及び「水関連事業」の2つを報告セグメントとしています。

「エネルギー関連事業」は、主に石油精製及び石油化学プラント用内部装置「スクリーン・インターナル」の製造・販売を行っています。「水関連事業」は、主に取水用スクリーンの製造・販売並びにケミレス及びハイスの製造・販売、水処理プラント工事を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」と概ね同一です。また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値です。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,787,901	3,129,140	8,917,041	—	8,917,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,787,901	3,129,140	8,917,041	—	8,917,041
セグメント利益	1,875,353	353,303	2,228,656	△708,804	1,519,852
その他の項目					
減価償却費	102,282	18,461	120,744	37,176	157,921
のれんの償却額	—	4,787	4,787	—	4,787

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額△708,804千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

(2) 減価償却費の調整額37,176千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用です。

2. セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しています。

3. セグメント負債は、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象になっていないため記載していません。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,512,734	2,955,416	7,468,151	—	7,468,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,512,734	2,955,416	7,468,151	—	7,468,151
セグメント利益	928,202	163,830	1,092,032	△592,501	499,530
その他の項目					
減価償却費	99,628	21,687	121,316	20,914	142,230
のれんの償却額	—	4,787	4,787	—	4,787

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△592,501千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。
- (2) 減価償却費の調整額20,914千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用です。
2. セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しています。
3. セグメント負債は、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象になっていないため記載していません。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	1,076.21円	1,148.62円
1株当たり当期純利益	138.90円	47.06円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	970,374	327,971
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	970,374	327,971
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,985,894	6,968,865

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

受注及び売上高の状況

(1) 受注の状況

当連結会計年度の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
エネルギー関連事業	5,299,434	112.3	2,736,024	135.5
水関連事業	4,319,688	137.0	3,213,368	174.2
合計	9,619,123	122.2	5,949,392	154.0

(2) 売上高の状況

当連結会計年度の売上高をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
エネルギー関連事業	4,512,734	78.0
水関連事業	2,955,416	94.4
合計	7,468,151	83.8

(注) 1. 当連結会計年度の売上高を地域ごとに示すと、次のとおりです。

	エネルギー関連事業		水関連事業	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
日本	28,804	0.6	2,784,954	94.2
中国	1,474,499	32.7	—	—
アジア (中国を除く)	815,849	18.1	160,712	5.5
米州	659,383	14.6	—	—
欧州	194,460	4.3	9,750	0.3
中東	1,239,132	27.5	—	—
アフリカ	100,605	2.2	—	—
計	4,512,734	100.0	2,955,416	100.0

2. 最近2連結会計年度におけるエネルギー関連事業の売上高について、新設プラント向けの製品及びサービスの売上高と、既設プラントの設備更新・メンテナンスに関する製品及びサービスの売上高に分類した場合の内訳は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)		当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
新設プラント向け	886,364	15.3	429,931	9.5
既設プラント向け	4,901,537	84.7	4,082,803	90.5
計	5,787,901	100.0	4,512,734	100.0